



# いきがい高知

書 浜田尚川氏

高齢者の  
元気な働きで  
明るい社会

# No. 76

発行／公益社団法人高知市シルバー人材センター 〒781-0802 高知市丸池町1-1-14

TEL088-882-3839  
e-mail kochi-sc@sjc.ne.jp

2020・1



もくじ

新年のご挨拶・古味理事長	2	小豆島日帰り親睦旅行同行記	5
高知市へ支援要望	2	第三次中期計画の概要	6
鴨田ブロック総会	2	日曜日通行量調査業務を終えて	7
新年のご挨拶・岡崎市長	3	事務局日誌	7
まめに健康チェック	3	「いきいき美容教室」講習会	8
会員紹介	4	フォトギャラリー・会員ひろば	8

シルバー人材 高知

検索

<https://webc.sjc.ne.jp/kochi-sc/index>



## 新年のご挨拶

古味 勉理事長



新年あけましておめでとうござります。

皆様には、健やかに新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は、台風による災害や孤立がもたらす事件など、心の痛む出来事もありましたが、秋には日本ラグビーの活躍、日本人のノーベル賞受賞、そして天皇陛下ご即位の式典などがあり、明るい話題で締めくくることができたのではないかと思います。今年には天皇陛下がご即位され、元号が令和となつて始めて迎える新年であり、56年ぶりに東京オリンピックも開催される年ですので、災害などがなく、明るい気持ちに包まれた良い年になることを祈りたいと思います。

さて、少子高齢化、労働力不足が進む中で、一億総活躍社会、生涯現役社会の構築が必要とされており、シルバー人材センターの高齢者にも「地域の担い手、働き手」としての活躍が期待されています。

そうした中で、高知市シルバー人材センターでは、昨年3月に第3期

中期計画を策定し、「高齢者が活躍できる場を提供すること」を基本理念として、事業の根幹である「会員を増やすこと」と「仕事を増やすこと」に鋭意取り組んでいます。

令和元年度の上半期、9月時点の状況を前年同期と比較しますと、会員数は18人、1.6%の増、契約金額は約800万円、4%の増となつており、取組の効果による近年の横ばい状態、足踏み状態からの脱却に期待しているところです。

契約金額の増は、主に派遣契約の増加によるものですが、本年4月1日に施行される改正労働者派遣法による同一労働同一賃金制度がシルバー人材センター派遣事業にも適用されます。この制度はこれまでシルバー人材センターが推進してきた派遣事業にとつて、課題も多く、影響も大きいと思いますので、契約先の皆様との協議をはじめ、関係者とも連携して適切に対応しなければならぬと考えています。

中期計画の数値目標は、契約金額は年2%のUP、会員数は年約4〜5%程度のUPとしており、特に会員数については、高い目標設定となっておりますが、これからもシルバー人材センターが地域で頼りにされる存在としてさらに充実・発展していくために、役職員一同、努力を重ねていく

所存です。皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、本年が皆さまにとりまして幸多い年となりますことを祈念しまして、新年のごあいさつといたします。

## 高知市へ支援要望

令和1年10月31日

(木) 古味理事長、藤原宇賀副理事長、事務局局長が高知市を訪問し、吉岡副市長と中沢副市長に面談



していただきました。全国的にシルバー人材センターを取り巻く社会環境は厳しくなつてきています。高知市シルバー人材センターも第3次中期計画を策定し、「地域に信頼されるセンター」として取り組みを進めているところです。左記の通り予算の確保や、受注に関するお願いをしました。

### ① 運営補助金の確保

経常的補助金、ワンコインサーブス補助金、街路市活性化事業補助金について前年度同額の補助金の交付をお願いしました。

② 公園整備業務など従来からの契約の継続や、新規事業の発注をお願いしました。

## 鴨田ブロック総会

令和元年9月22日(日)午前11時より高知市西部健康福祉センターで、会員76名中24名の出席で開かれました。山下禎男ブロック長の挨拶に続き、役員改選から始まりました。座席が班別に決められていて話し易く考えであり、相談の結果、ブロック長3班まである班長・副班長全員留任となりました。

宇賀シニアアドバイザーより事業実績資料に基づき現状報告がされ、詳しく説明がありました。局長より、地域に信頼されるセンターを目指しているのが協力をよろしくお願いしたい、又会員を増やす為には仕事を増やさなくてはならないので事務局も努力していることや、会員の高齢化に伴い健康を維持する為の講習会、クラブやボランティア活動で生きがいを見付けて欲しいなどの話がありました。

会員さんからは、「この仕事はシルバーに任せたい」というような仕事を増やして貰いたい」「会員の望んでいる仕事を探して欲しい」「など12時までの予定時間をオーバーするほど活発な意見交換がなされ、事務局のしっかりした対応がありました。」

(安岡)







新年のご挨拶

岡崎誠也市長



明けましておめでとーございませう。

会員の皆さま方におかれましては、令和の新しい時代にお健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃から高齢者福祉の充実はもとより、市政全般にわたってご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

高知市シルバー人材センターは、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、働くことよって健康の増進や生きがいの充実を求める高齢者の方々のための組織として、昭和56年に発足されました。以来、市民の皆さまから親しまれるセンターとしてご発展を遂げられておりますことは、ひとえに会員の皆さま、職員の方々のご尽力の賜物であり、心から敬意を表します。

総務省の人口推計によりますと、令和元年10月1日現在のわが国の総人口は1億2千6百14万人で、前年同月と比べて30万人減少しました。その中で、65歳以上の人口は3千5百89万人、15歳未満の人口は

1千5百22万人と、高齢者人口は増加し、年少人口が減少する傾向が続いており、高齢者人口が総人口に占める割合は28.5%と過去最高となっております。

また、65歳以上の就業者数は8百62万人で、15年連続の増加となっており、就業者総数に占める割合も12.9%と過去最高に達しました。

このように、少子高齢化と高齢者の就業が進む中、高知市シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の方々のニーズに応じた、地域社会に密着した様々な就業の場の確保と提供をいただいております。

本市としましても、健康で働く意欲のある高齢者の方々が、豊富な知識や経験、技能を活かしながら活躍され、健康の増進や生きがいの充実につなげていただけるように、高齢者の社会参加の促進に努めるとともに、さまざまな福祉課題や地域課題の解決に向けて、地域全体で支えあう「地域共生社会の実現」に取り組んでおりますので、今後とものご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、高知市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、本年が皆さま方にとりまして、幸多い素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



まめに健康チェック

### 風邪の季節に

朝倉の川村武夫医師は整形外科・内科の名医です。しかしそれに止まらず、心身の健康維持の良きアドバイザーとして、あらゆる年代の人々が先生を頼りにしています。

風邪の季節に私たち高齢者の心がけを教えて頂きました。

#### ①うがいをする

咽喉の有害微生物を除去する。のどの粘膜の加湿が予防に役立ちます。イソジン液等の殺菌剤でうがいをすればより効果的。(外出後や寝る前に)

#### ②寝る前に歯を磨く

歯に挟まっている食物のかすを取り除くことは風邪より恐ろしい嚥下性肺炎(気管支に入った食物かすが引き起こす)を予防できます。

#### ③手をよく洗う

手に付いた有害微生物を除去します。流水で石鹸をつけてよく洗いましょう。(トイレ後、外出後、食前、顔や口に触れる前等)

#### ④食後2時間は横にならない

食後すぐに横になると、食道や胃に残っている食物のかすが逆流して気管支や肺に入り、知らぬ間に気管支炎や肺炎にかかり易くなります。

#### ⑤その夜の最低気温や室内の乾燥に注意する

気温が下がれば体の外表面湿度も下がり、免疫能も低下します。季節の変わり目に風邪をひき易くなるのは気温の変動が大きいからです。夜中、未明の最低気温を知り、布団1枚、下着1枚の調整やエアコンの設定変更等で対応しましょう。乾燥時は加湿も忘れなようにしましょう。

#### ⑥人混みを避ける

流行時期の飛沫感染をさけるということですが。

#### ⑦寝不足、過労、アルコールの過飲、運動不足等の不摂生をしない

#### ⑧インフルエンザの予防接種を受ける

厚生省が指定したその年の予防接種を接種します。(10月から12月に1回) 予測が当たらなくても軽症ですみます。(重松)





## マイ・ワンダフル ライフ

西村 正さん (70歳)  
大津・介良ブロック



村さんに取材しました。

西村さんは現役時代、県内ゼネコンに勤務し、県外を拠点に東北新幹線や高速道路の建設に従事していました。

「岐阜時代は単身赴任で、ひとり暮らしの楽しい思い出は沢山あります。夏は郡上祭りや、長良川で鮎の友釣りの手解きを受け、冬はスキーをしてとても楽しく充実していました」と言いながら、お

台風18号の影響で高知市内の何か所かが冠水した翌日、夏が戻ったような暑さの中、西

もむろに腰のポケットからパスケースを取り出し、一枚の写真を引き出しました。そこには、越知のコスモス公園をバックに美しい女性が佇んでいます。その女性の日本人離れしたエキゾチックな容姿に驚きました。「一緒に観光地に行く」と、妻は外人に間違われ、わざわざ外人用の英語のパンフレットを渡されたんですよ」とテレと自慢が入り混じった笑顔で言いました。そうでしょうねと納得です。それにしても、男性のどれくらいの人か妻の写真をパスケースに入れてあるだろうかと考えると、なんだか素敵な人だなと、西村さんの笑顔を見つめてしまいました。

現役当時の工事で思い出深い出来事がありますかとお聞きすると、「そうですね。あるとき高速道路の橋脚を作っていたんですが、その高さが100m近くあったんです。あれは怖かったです。命懸けでした。でも、工事が完了して道ができることなりました。の直線道路。ピユッと走って終わりました。ちよつとガツカリしました」面白く話してくれていますが、便利に使っている裏には、沢山の人の苦勞があるのだと改めて思うエピソードです。

西村さんが現役時代を振り

返つて伝えるとしたら、どのような事があるのかと訊ねました。「現代はインフラが整備され時間距離がドンドン短くなっています。でも、その反動で地域文化が次々と消えていく事になります。文明が発達すると、新しい文化が芽生え、伝統文化のようなものは衰退する。だから、岐阜の郡上祭りや長良川の鮎の友釣りの様な地域文化が廃れることなく受け継がれていくって欲しいです」と答えて頂きました。

確かにメジャーな地域文化は盛り上がりつつありますが、そうでないものは後継者もなく、いずれ消滅してしまいます。高知県もそのような文化が多くあり、我々のシルバー世代が最後の後継者になりそうなものばかりです。

センターの就業について話していただきました。「センターでは草刈を主に就業しています。趣味で菜園と果樹園を作って楽しんでいますが、草刈機の扱いには慣れていません。ただ、就業依頼は夏場が多く、二年を通じて安定した依頼がないのが残念です。入会当初は自分のスキルを生かした測量の手伝いなどがありました。最近は一さつぱりです。マッチした就業依頼は少ないですが、この点はセンター

やコーディネーターの方々に期待しています」

就業のマッチングは全会員のテーマです。ブロック単位でも問題にしていますので、これからさらに期待できる環境になると思います。

西村さんは就業だけでなく「やさしい英語クラブ」で他の会員さん達と楽しく学んでいます。季節になると自分の果樹園で収穫した果物を差し入れし、大変喜ばれているとのこと。

「畑は手結にあり、潮風が当たるので甘味が増すのでしょろね」と、笑う顔は日焼けして、立派なファーマーの雰囲気が出ていました。

笑顔が素敵で、落ち着いた物腰の西村さん。是非、英会話をマスターしてそれを活かして楽しんでもらいたいと思いつつ、取材を終えました。(池田)

### 《インタビューの後に》

西村さんによると、長良川の鮎は香りがよく美味で他の鮎の比ではありません。岐阜県では魚の環境を守るため、川の保全に力を入れているそうです。

本場仕込みの甘露煮の作り方を教えて頂きました。早速挑戦





してみました。大成功！皆さんも試してみてください。

### 西村式甘露煮の作り方

- ① 鮎を半焼き（皮はパリッと中は柔らか）にする。
- ② 鍋に鮎を並べて入れ、ひたひたになる位のお茶（種類は問わない）と梅干1〜2個を入れる。
- ③ 酒、砂糖、醤油、みりんでお好みの味を付け、弱火で汁気がなくなるまで煮含める。

（重松）

### 小豆島日帰り 親睦旅行同行記



令和元年11月22日（金）午前6時10分センター前に集合。

集合時間丁度で待機しているバスに乗車すると、すでに殆どの参加者が座席にチンと座り発車を待っていた。「え、え〜！いったい皆さん何時に来たんだら着座した。まるで私を待っていたかのように予定時間より少

し早く出発した。まだ夜が明けやらぬ中、高知道に入ったバスは高松港に向けて疾走する。天気予報は雨。しかし、晴れ男と呼ばれる事務局の宇賀さんが同行している。ここは、宇賀さんに頑張つて貰うしかない。

昭和を支えた男女の猛者の休日が始まった。周りを見回すと31名の元気な会員の楽しそうな顔。しかも、どうも私が最年少（？）で小僧のようだ。

シルバー旅行ではお馴染みになった、高橋添乗員の軽妙な話術に引き込まれ、あっという間に高松港到着。数十年ぶりのフェリー乗船にワクワクする。フェリーは満杯だが、半分は外国人で、何だか時代の変化を感じてしまう。

この頃になると、会員の仲良しグループの輪がほぐれ、一つの大きな仲間の輪ができた。

私も、素敵な会員の笑顔をパチリパチリと撮影して回った。瀬戸の小島を背景に、素敵な会員のショットが撮れた。みんな溢れんばかりの笑顔をしている。

1時間の船旅で小豆島到着。時間の関係で行程を大幅にショートカットして、寒霞溪に直行する。バスは直接頂上に到

着。全国的に紅葉が遅れていると聞いていたが、寒霞溪は見事な紅葉で、さすがにこの景色には感動した。

晴れ男パワーで雨は降らず曇天でも紅葉を透かして見る瀬戸内海は中々の絶景だった。それにしても会員の皆さん、足腰も丈夫で元気この上ない。腰痛で泣き言を言っている自分が情けなくなる。頂上で紅葉を楽しんだ後、下りのロープウェイに乗る。箱は思ったより収容力があり、会員がどんどん乗り込むと結局全員乗り込めた。下りの景色は風情が違った絶景が楽しめる。会員も感嘆の声をあげていた。

紅葉で紅く染まった木下道を頂上に向かって歩く若者が見える。私も若ければ挑戦するのだが、今はシルバーに優しいルートに感謝する。案の定、下のステーションは登りのロープウェイに乗る観光客で長蛇の列ができていた。高橋添乗員の機転はさすがだった。

オリーブ公園でお土産ものなどを買い揃えた後、昼食となった。和気あいあいの中、皆の話や聞くと「生涯現役」の気概を持つ人達ばかりだった。帰りのフェリーで、大先輩の

女性会員と隣り合い、会話が弾む内に高松港に到着した。事務局の岡林さんに「この方、脚が不自由なので下りの階段でお手伝いしてあげて」と頼まれた。「よっしゃ、まかしちよき」とばかり意気込むが、私よりずっとシャンシャンしている。「シルバー人材の大先輩達には勝てんわ」とうなだれてしまった。帰路の車中では「大抽選会」などあり、うたた寝するまもなく高知に到着した。

高知は雨。宇賀さんの念力パワーありがとうございました。昭和の猛者達、来年も会いましょう。  
（池田）





## 第三次中期計画の概要

「地域に信頼されるセンター」を目標に令和1年度から5か年の活動方針を作成いたしました。この計画では、急速に少子高齢化が進展する中、変化する社会環境に適切に対応し、会員が生き生きと健康で活躍していただけよう取り組むこととします。

高知市の現状は、高齢者人口は増え続け、令和7年度には、75歳以上の高齢者人口は56,000人を超えそれ以降も増加していくと推測されています。平成29年度における75歳以上の実就業者率は約31%となっています。

これからも生涯現役で活躍していただくためには、当センターが地域で信頼され、愛される組織として発展していく必要があります。お力添えをよろしく願います。

**その方法として、4つの方策を実行していきます。**

### ① 会員を増やします。

1年間で退会される会員は約180名程度で推移しています。新たな会員に入会していただかないと、

自然減となり運営に支障をきたしてしまいます。さらに、剪定や草刈りなどの技術を伴う仕事の後継者が不足し発注に対応できていませんが、この傾向は年々強まっています。あらゆる機会を活用し、センターのイメージアップを図りながら、ホームページの刷新やチラシの配布など、センターを知っていただく努力をしています。

入会説明会や会員ガイドもわかりやすいように工夫をしながら、多くの方が入会していただけるようにしていきます。

会員の皆様の口コミが一番効果的であるとの意見がたくさんセンターから寄せられています。ぜひ近くの友人知人にシルバー人材センターのことを話していただければ幸いです。

### ② 仕事を増やします。

会員が増えても、仕事が増えれば意味がありません。会員の希望する仕事を増やしていく努力が必要です。また、会員に就業情報をお知らせする機会を多くし、就業のミスマッチを少なくしていくことが求められています。

派遣就業などの新規就業先の開拓にも積極的に取り組んでいきます。剪定や草刈りなどの従

来からの仕事も、新規受注の確保に努めていきます。

事務局職員が事務能力向上に努めることはもちろんですが、会員の丁寧な仕事と、心のこもった接遇はリピート発注者を増やします。会員の仕事ぶりを見てシルバーにお願したいとの新たな依頼も多くありますので、心のこもった挨拶を心がけていただきたいと思います。

### ③ 安全就業・適正就業を徹底していきます。

せっかく会員になつていただいても、怪我や体調を悪くしたのでは何のための入会かわからなくなります。毎年何人かの会員が事故にあつていますが、注意すれば防げた事故もあると思われ胸が痛みます。事務局では、会員が事故に遭わないように研修や、啓発活動に積極的に取り組んでいきます。くれぐれも日々の就業、安全第一をお願いしたいと思います。

適正就業については、出来るだけ公平な就業機会の確保に努めていきます。新規就業先の確保はもちろんのこと、仕事の分かち合いやローテーション就業を進めることにより、就業の偏りをなくすように努めていきます。

### ④ 生きがいと健康づくり。

平成29年度会員の平均年齢は73.5歳となっていますが、今後も就業会員の高齢化は進んでいくと予想されます。

お仕事が少なくなってきたり、友人や仲間と楽しく集えるイベントがある。健康を維持するため講習会・研修会がある。

親睦旅行や、各種クラブ活動、ボランティア活動などの生きがいがある。そんな多様性のあるセンターを目指していきます。

### 最後に

少子高齢化の進展、働き方改革、消費税の改定、年金問題など課題の多い時代です。将来を見据え、計画的に対応していくことがとても大事になってきます。これからも安定した運営を目指し、第三次中期計画に基づき取り組みを進めていきます。

地域に信頼され、愛されるセンターに発展していくためには会員のお力がぜひ必要です、今後とも当センターにご協力をよろしく願います。

会員の皆様、最後までお読みいただきありがとうございます。

(事務局長 藤原)





### 日曜日通行量 調査業務を終えて

去る5月5日、7月7日、9月1日、11月3日の4日間(日曜日開催日)高知市の委託を受け日曜日周辺での通行量調査を行いました。

調査は、24人のメンバーで午前8時から午後5時までの時間帯、日曜市の外から日曜日へ流入する来市者を16地点で、そして、来市者が日曜日の中で東西に移動するのを4地点で方向別に計測するもので、延べ864時間行いました。

業務内容は、購買力があると判断される来客者を調査対象に、日曜日開催場所周辺の各交差点の通行者数をカウンターで計測し調査票に集計するものです。

調査時間のなかで空白時間が生じることの無いよう、調査対象範囲を3エリアに区分し、それぞれ交代要員を配置し、適時交代しながらの実施です。

調査期間が5月から11月、調査時間が午前8時から午後5時までと長いことから、天候や暑さなどによる参加会員の健康管理も心配でした。そのため交代要員のスタッフに順次担当エリアを移

動しながら声掛けをしていただきました。

何よりも会員さん自身が長年の経験を生かし、水分補給や日傘などの日よけ対策などをそれぞれ工夫され、感心しました。

今回、私たちが行ったこの調査が、今後、市の施策のなかで活かされ日曜市の更なる活性化に繋がる一助になることを思うとき、調査に携われたことを嬉しく思います。



この度、重要な業務を推進するリーダーの役を務めさせて頂きました。スタッフの皆さんに十分なお世話や気配りができたか、就業ポジションは適所であったかなど、多くの反省点も残っています。業務に従事された会員の苦勞と努力のおかげで、この業務が無事終わることが出来ました。

また、ご協力を頂きました事務局の皆さん、そして調査日には、早朝から椅子の運搬をしていた頂きました会員さんを始め関係者の方々に重ねて感謝し、事業の報告とさせていただきます。

(リーダー 高村・山本)

## 事務局日誌 (10月~12月)

### 【10月】

- 10月10日 適正就業会議 (東京:連合会館)
- 10月21日 入会説明会 (勤労者交流館)
- 10月21日 いきいき美容教室 (会議室)
- 10月23日 社会保険制度講習会 (ちより街テラス)
- 10月25日 中間監査 (外部監査)
- 10月29日 中間監査 (内部監査)
- 10月31日 高知市長陳情 (高知市役所)

### 【11月】

- 11月13日 OA機器展示・説明会 (高知リコー)
- 11月13日 派遣・請負事業所セミナー (ちより街テラス)
- 11月21日 第3回安全就業対策委員会 (会議室)
- 11月21日 四国ブロック職員研修会 (高知会館)

- 11月22日 会員親睦旅行 (小豆島)
- 11月22日 派遣実務者会議 (大阪市)
- 11月27日 高知県安全就業委員会 (高知会館)

### 【12月】

- 12月9日 第1層協議体会議 (福寿園:元気ふれあい館)
- 12月16日 入会説明会 (勤労者交流館)
- 12月20日 会計・経理実務者会議 (連合会館)
- 12月25日 派遣事業研修会 (ちより街テラス)



### 令和2年1月~同2年6月の予定

#### ◎配分金支払日

- 令和2年
- 1月17日 (金)
  - 2月17日 (月)
  - 3月16日 (月)
  - 4月15日 (水)
  - 5月18日 (月)
  - 6月15日 (月)

#### ◎入会説明会 原則、第3日曜日 午前10時~11時30分

- 令和2年
- 1月20日 (月)
  - 2月17日 (月)
  - 3月16日 (月)
  - 4月20日 (月)
  - 5月18日 (月)
  - 6月15日 (月)





「いきいき美容教室」  
講習会

10月21日(月)午後2時～4時  
までシルバー作業所2階会議室で  
講習会がありました。会員14名  
参加で、講師はポーラ化粧品北  
村先生をはじめ9名も。

到着した私の目に飛び込んで  
きたのは、受講生たちの自然なメ  
イクをした生き生きとした顔  
・顔。

「普段しないお化粧が出来てと  
ても良かった」「目力を強くする  
アイライナーの引き方を習って目  
が大きく見えるのでうれしい!」  
「気持ちまで明るくなります」  
などなど。

黒板にはメイクの手順が書かれ  
ていました。アイブロー→アイカ  
ラー→アイライン→マスカラー→リッ  
プ→チーク、ハイライト

最後に全員、

手の保湿とマツ  
サージをして  
もらい、皆さん  
「すごく気持  
ちがいい!」と  
の感想でした。

(安岡)



フォトギャラリー

海が好き、艦艇が好き

浅倉 良一 (70歳・長浜ブロック)



子供の頃は高知市内にもプラモデル屋  
が沢山ありました。欲しい艦艇のプラ  
モデルがあっても限られた小遣いでは  
なかなか買うことが出来ませんでした。  
その為、社会人になると堰を切ったよ  
うに買い集めました。ちなみに、私の  
現役時代の職業は『潜水士』です。



新春短歌

和田 桂子 (79歳・城西ブロック)



折にふれやさしき友の言の葉は

何にもまさる宝なりけり

緑葉にくつきりと映えるつわぶきの

花の如くに今日を生きぬく

歳月の流れの早さを感じつつ

かぎりある命とうとき守りて

編集室

■あつという間に令和も2年とな  
りました。今年こそは災害などの  
無い穏やかな年であって欲しいと  
願うのみ。そして東京オリンピック  
の年でもあります。テレビの前  
での応援しかできませんが、楽し  
みです!

(安)

■ほぼ出来上った76号には、理事  
長・市長の年頭挨拶、日帰り親睦  
旅行記など新年号定番の記事が並  
び、1年が足早に過ぎ去るのを実  
感します。「二日一生」の思いで大  
切に生きたいですね。編集室への  
叱咤激励をお願いします。皆さま  
お幸せな新年を。

(重)

■令和元年もあつという間に終わ  
りました。運転免許の更新が近づき  
、今度は人生初のゴールド免許証。返  
納前の初ゴールドは、ちよつと嬉し  
いかな。これがご褒美と思つて来年  
も頑張ります。インフルエンザには  
注意してお過ごしください。

(池)

オカリナクラブ・歌謡舞踊クラブ

活動日変更のお知らせ

オカリナクラブ 第3水曜日

(今までは第4水曜日)

歌謡舞踊クラブ 第4水曜日

(今までは第2水曜日)